

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	鈴木 悠平
作業名称	スノーポール補修工	作業手順書	作成年月日	令和3年4月6日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	2tトラック、標機車		改定年月日	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	レンチ、スパナ、インパクトドライバー、石頭ハンマー、シャベル、スコップ、パール		現場責任者	
保護具	ヘルメット、振動手袋		協力会社	※社名 -
免許・資格等 (免)(技)(特)准 特の区別を記す)	自動車運転免許証、振動工具		協力会社責任者	※署名サイン -
作業人員 (当作業に関わる役 別と人員数を記す)	作業責任者 1人、作業員 2人、保安員 2人		合計 5名	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		令和2年10月26日	
	※後記欄記載してこの欄に記入 ※全員が署名サインする			

作業順序

1	現地確認
2	準備作業
3	スノーポール撤去
4	支柱撤去
5	傾き修正、破損箇所取替
6	支柱設置
7	スノーポール設置
8	片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能	○:まったく発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
性	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△△、×△	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、×△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	優先度	実施担当者
(誰が)	主なステップ	作業のポイント							リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定(防止対策)
現地確認(全員)	作業箇所確認 (5年以内)	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
		健康状態の確認、免許・資格等の確認、光物(チョッキ・照射・ヘッドライト等)の充電確認、業務用ブレーキの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認、車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷物の位置、荷台のネット・シート掛けの確認等。 工事車両がロープ及び発生テープで確実に固定されていることを確認 担当者は施工計画段階で"CHECK"と打合せした内容を作業員へ周知、報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
①スノーポール 破損の場合									
既存スノーポール撤去 (責任者、作業員)	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用しボルトナットを撤去する	手元注意	撤去、運搬時にスノーポールが周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて撤去、運搬する。
新規スノーポール設置 (責任者、作業員)	新規スノーポールを支柱に挿入する	長尺物のため、運搬、設置時に注意	設置、運搬時にスノーポールが周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて設置、運搬する。
②支柱、納管付風物 破損の場合	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用しボルトナットを撤去する	手元注意							
①既存スノーポール撤去に順ずる(責任者、作業員)									
A (土中式)									
既存支柱の撤去 (責任者、作業員)	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用しボルトナットを撤去する	手元注意	撤去、運搬時に支柱が周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて撤去、運搬する。
	納管から支柱を撤去する。	長尺物のため、運搬、撤去時に注意	撤去、運搬時にスノーポールが周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて撤去、運搬する。
	納管付風物の損傷があれば金具を取り替える。	手元注意							
新規支柱の設置 (責任者、作業員)	新規支柱を納管へ挿入する。	長尺物のため、運搬、設置時に注意	設置、運搬時に支柱が周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて設置、運搬する。
	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用しボルトナットを撤去する	手元注意	撤去、運搬時に支柱が周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて設置、運搬する。
①既存スノーポール設置に順ずる(責任者、作業員)									
B (Gr支柱添架式)									
①既存スノーポール撤去に順ずる(責任者、作業員)									
既存支柱の撤去 (責任者、作業員)	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用し、Uバンドを撤去する。	手元注意	Uバンド撤去時支柱が倒れて人に接触する。	△	△	△△	3		支柱を支える作業、Uバンドを外す作業を同じ作業員で行わない。
	支柱を撤去する。	長尺物のため、運搬、撤去時に注意	撤去、運搬時に支柱が周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて撤去、運搬する。
新規支柱の設置 (責任者、作業員)	新規支柱を挿入する。	長尺物のため、運搬、設置時に注意	設置、運搬時に支柱が周囲の人、物に接触する。	△	△	△△	3		現場保安員と連携し、周囲を確認しスノーポールを立てて設置、運搬する。
	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用しUバンドを固定する。	手元注意	Uバンド撤去時支柱が倒れて人に接触する。	△	△	△△	3		支柱を支える作業、Uバンドを外す作業を同じ作業員で行わない。
①既存スノーポール設置に順ずる(責任者、作業員)									
③傾き修正の場合									
A (土中式)									
①②既存スノーポール、支柱の撤去に順ずる(責任者、作業員)									
傾き修正 (責任者、作業員)	納管付近にある石をパール等を使用し移動させる。	足元注意	石を移動させる際に足を挟む	×	△	×△	4		石の移動させる方向を考える
	納管根本の土砂をスコップ等で除去し、石頭ハンマーで傾きを修正する。	手元注意	石頭ハンマーで誤って手を持つ	×	△	×△	4		無理な体勢で作業しない。
①②既存スノーポール、支柱の設置に順ずる(責任者、作業員)									
B (Gr支柱添架式)									
傾き修正 (責任者、作業員)	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用し、Uバンドを外す	手元注意	Uバンド撤去時支柱が倒れて人に接触する。	△	△	△△	3		支柱を支える作業、Uバンドを外す作業を同じ作業員で行わない。
	Uバンドが破損、著しい変形をしている場合は新規に取り替える。	手元注意							
	インパクトドライバー、スパナ、レンチを使用しUバンドを固定する。	手元注意	Uバンド設置時支柱が倒れて人に接触する。	△	△	△△	3		支柱を支える作業、Uバンドを設置作業を同じ作業員で行わない。
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							工事車両を撤去した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事